

デロイトトーマツミック経済研究所株式会社

貸借対照表

2023年5月31日 現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	102,392	流動負債	22,432
現金及び預金	90,560	未払金	1,934
売掛金	11,033	未払費用	7,707
貯蔵品	138	未払法人税等	7,209
前払費用	726	未払消費税等	3,481
貸倒引当金	△66	預り金	2,099
		負債合計	22,432
		純資産の部	
		株主資本	80,971
固定資産	1,011	資本金	30,000
無形固定資産	424	資本剰余金	632
電話加入権	424	資本準備金	632
		利益剰余金	50,339
投資その他の資産	586	利益準備金	12,618
繰延税金資産	586	その他利益剰余金	37,721
		繰越利益剰余金	37,721
		純資産合計	80,971
資産合計	103,403	負債及び純資産合計	103,403

(注1)：千円未満は切捨てにより作成しています。

(注2)：当期純利益 37,720 千円

個別注記表

自 2022年6月1日
至 2023年5月31日

I 重要な会計方針

1. 資産の評価基準及び評価方法

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品
・・・ 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

- (1) 有形固定資産
・・・ 定率法又は旧定率法
(ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）は旧定額法、2007年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）は定額法を採用しております。)
- (2) 無形固定資産
・・・ 定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

営業収益は、原則として業務提供の進行に応じて計上しております。
但し、事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められない案件については、成果が確実と認められた時点で営業収益を計上しております。

II 株主資本等変動計算書に関する注記

1 発行済株式の数に関する事項

株式の種類	普通株式
発行済株式数	992株

2 配当に関する事項

① 配当金支払額

・ 決議	2022年6月23日	定時株主総会
・ 配当金の総額	113,763千円	
・ 配当の原資	利益剰余金	
・ 基準日	2022年5月31日	
・ 効力発生日	2022年6月24日	

III 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。